

令和2年7月9日

川西市議会議長

秋 田 修 一 様

総務生活常任委員長

福 西 勝

### 委 員 会 報 告 書

本委員会に付託の事件は、審査の結果、別紙のとおり決定したので、会議規則第101条の規定により報告します。

総務生活常任委員会における審査の経過と結果について（審査日：令和2年7月8日）

1. 議案第49号 令和2年度川西市一般会計補正予算（第5回）

議案の概要

第1表 歳入の全部。歳出第2款総務費。第7款商工費。第9款消防費。

質疑の概要

第1表 歳出

第2款 総務費

問 参画と協働のまちづくり推進事業において、市民協働事業補助制度を活用し、感染症対策・ポストコロナを見据えた市民・団体の活動を支援する費用として、負担金、補助及び交付金に200万円を追加しようとしているが、応募の時期や実施報告の有無等、事業の詳細について伺いたい。

答 今回は、これまでの市民協働事業補助制度の仕組みの中で、市民団体等が実施する事業における感染症対策に対して5万円を上限として、ポストコロナの新しい市民生活を支援する事業に対して20万円を上限として、それぞれ活動に要する費用の5分の4を補助していこうというものである。

募集期間については、新型コロナウイルス感染症の状況が変化する中で、状況に応じたアイデアが出てくることも考えられるため、期間を長くするのか、数度に分けて募集するのか等、例年通りの1回限りとしない方法について検討していきたいと考えている。また実施報告については、補助制度である限り、適正な執行がなされているかは確認する必要があると考えている。

問 同事業において、市民協働事業補助制度については、その後、継続するのが難しく、途中で事業をやめてしまうことも多々あったと思われる。今回の補助についても事業の継続についてのチェックやフォローが必要と考えるが、基本的な考え方を伺いたい。

答 今回の補助についても、これまで同様、事業立ち上げの部分での補助であると考えているが、市民団体等が実施する事業における感染症対策が十分なものであるか、ポストコロナの新しい市民生活を支援する事業についても目指していたものが、継続できているのかということを確認していきたいと考えている。

ただ、継続性自体のハードルを上げすぎることにより、立ち上げが難しくなる部分もあることからその辺のバランスが重要であると考えている。

問 管財事業において、公営霊園送迎における感染予防対策への支援として、負担金、補助及び交付金に127万1000円が追加されようとしているが、補助金の詳細について伺いたい

答 今回の補正は、川西市都市整備公社が行っている公営霊園事業に対する補助金の追加であり、お盆、秋彼岸、年末、春彼岸に運行している霊園バスに関し、新型コロナウイルス感染症対策として、座席の間隔を空けることにより必要となる運行台数分に対し、補助を行おうとするものである。具体的な運行台数については、当初、午前2台、午後2台と計画していたものを、多くの方が利用される午前2台、午後については1台を増車する計画を検討していると公社から聞いている。

#### 第7款 商工費

問 今回、商工振興事業において、地域経済活性化対策経費として、委託料等に350万1000円が追加されようとしているが、委託料等の詳細や事業のスケジュール等の具体的な内容について伺いたい。

答 今回、これまでの川西市産業ビジョン推進委員会の下部組織に新たに地域経済活性化対策部会を設置し、令和元年度に策定した産業ビジョンを推進するとともに、ポストコロナを前提とした地域経済の活性化に係る施策を具体的に検討したいと考えている。委託料の詳細については、本市における現下の経済状況や事業者の状況を把握し、その調査結果に基づき行政支援策を具体化させていきたいと考えているほか、部会等の運営支援や先進事例等の調査研究についても費用を活用していきたいと考えている。また、スケジュールについては、補正予算成立後直ちに、産業ビジョン推進委員会及び部会を立ち上げ、年内に部会の議論を取りまとめていきたいと考えている。

#### 第9款 消防費

問 今回、災害対策事業において、避難所の感染予防対策経費として、備品購入費等に1061万6000円が追加されようとしているが、備品購入費の内容や物品の保管場所について伺いたい

答 備品購入費の内容については、発電機24台、投光器48台のほか、庁舎内で使用することを想定し、次亜塩素酸水生成器1台の購入を予定している。備蓄については、発電機の重量を勘案すると、階段などの上げ下げが困難なことから、出在家健幸公園の倉庫とキセラ川西内の防災倉庫に配置していく予定である。

問 同事業において、今回購入予定のベッドや段ボールトイレ等の備蓄品は、本市の

<p>地形を考えると、大災害が発生した場合に交通が寸断されることも想定され、このような点から備蓄品の分散配置が重要であると考え、その考え方を伺いたい。</p> <p>答 前回購入したパーティションテントについては、学校の協力により、避難所の開設を予定している学校に一定量配置しており、今回のベッド等についても、配置しやすい形状のものを選ぶことなどを含め、学校の協力を得ながら、分散配置に努めるよう検討していきたいと考えている。</p>
特記事項 なし
審査結果 原案可決（全員賛成）